

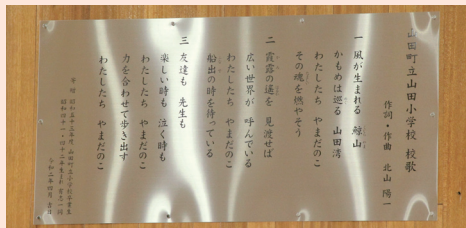
教育委員会だより vol.27

◆問い合わせ 町学校教育課総務係
(☎82-3111内線312)または町生涯学習課社会体育係(☎82-3111内線625) へどうぞ。

天空海闊

—空、とこしえに碧くして 海、穏やかにどこまでも—

校歌プレートが寄贈に



4月6日、山田小学校へ新しい校歌が刻まれたプレートが贈られました。これは、昭和53年度の町内小学校卒業生が出身校の垣根を越えて子どもたちを応援しようと企画したもので、卒業生の有志132人が参加。贈呈式には、代表の佐藤浩喜さんらが同校を訪問し、三浦秀行校長に目録を手渡しました。また、校歌プレート購入で残った資金は、子どもたちのために使ってほしいと目録が佐々木茂人教育長に手渡され、山田町育英会で活用されることとなりました。今回寄贈された校歌プレートは、同校の体育館に設置されています。

4月6日、山田小学校(三浦秀行校長)の開校宣言式を開催しました。式では、佐藤信逸町長が式辞に続き開校を宣言。その後、佐藤町長から三浦校長に新しい校旗が手渡されました。児童を代表し間瀬友寛君(6年)が「友達の名前を早く覚えて、山田小の歴史を作っていくましよう」と呼び掛けました。最後に先生方から新しい校歌が披露され、児童は静かに耳を傾けながら学校生活へ期待を膨らませていました。



山田小学校の開校宣言式
希望を膨らませスタート



3月17日、澤田薫後援会(阿部基会長)から山田町育英会(会長・佐藤信逸町長)へ寄付金12万3027円が贈られました。これは、昨年8月に開催されたラストコンサートをもって解散した同後援会が、町の子どものために役立ててほしいと贈ったもので、阿部会長から佐藤町長へ目録が手渡されました。町育英会は、昭和32年に設立され、これまで370余名の子どもたちの進学を後押しし、奨学金利用者は現在多方面で活躍しています。

澤田薫後援会から温かい善意
町育英会に寄付金が贈られる

教育長コラム

鯨峰爽やかに

4月6日、佐藤信逸町長が開校を高らかに宣言し、山田町立山田小学校がスタートしました。一昨年から学校再編について議論を重ね、本年度から町教育環境は大きく変わりました▶町内4小中学校がどのような学校になるかは、主役である子どもたちの持っている力をどこまで引き出せるかにかかっています。そのためにもご家族、地域の皆さんの力がどうしても必要です。先生方や教育委員会と力を合わせ、子どもたちが行きたいと思える学校を創りあげていきましょう▶学校に行くのを不安に感じるお子さんがいたら、話を聞いてそっと背中を押してあげてください。その手の温かさが不安を減らしてくれることでしょう▶年齢を重ねるとともに校歌の良さをしみじみと感じるようになってきました。新生山田小の校歌を作詞作曲したのはゴスペラーズの北山陽一さん。子どもたちの声で校歌を聞くのが楽しみです。